

事業番号	13 01 02	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道事業(末端給水事業)		部局	企業局	課・室	水道事業課
			実施期間	S38 ~	E-mail	kiqvo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興 4-1 県土の強靱化 4-3 医療・介護提供体制の充実	4-5 地球環境への貢献 5-2 女性が輝く社会づくり 6-1 個性豊かな地域づくりの推進				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	基幹施設・基幹管路の耐震化や有収率向上対策の拡充、「安心の蛇口」の整備など、経営戦略の着実な推進を図るとともに、水道事業の新たな役割を見据えた地域貢献や、危機管理体制の強化、未来・先端技術への挑戦等に取り組む。	30年度 決算額	6,805,635 千円
		職員数	45.00 人

○「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定)に基づき、安全・安心、そして安定的な水道水の供給体制の礎を築く。
 <経営の安定>
 ・基幹施設・基幹管路の耐震化、老朽化対策、有収率向上対策の推進
 <地域への貢献、地域との共存・共栄>
 ・「水道事業運営研究会」において関係市町との業務の共同化・連携を研究
 ・天龍村の簡易水道施設整備に係る事務の代替執行
 <リスクマネジメント>
 ・「安心の蛇口」の整備(熊本地震の状況等を踏まえ、R7年度までの整備目標11か所→20か所に倍増)
 ・関係市町との「災害時連携協定」に基づく実践的な合同訓練の実施
 ○さらに、水道事業の新たな役割を見据えた地域貢献、危機管理体制の強化や、社会環境変化への挑戦に取り組む。
 ・高齢者元気応援システム(ASA System)の実証実験及び普及促進
 ・音圧ロガー漏水監視機器貸出しによる市町村の有収率向上支援
 ・施設運転管理情報共有システムの整備
 ・建設現場への週休2日の導入及び女性活躍応援事業(女性専用トイレ、更衣室等の設置)
 ・働きやすく機動的な職場環境の整備(快適な執務スペースの確保、LED照明への切替、衝突防止機能付き車両への切替)
 (主な実施内容:老朽化対策、耐震化、有収率向上対策、「安心の蛇口」の整備、先導的地域貢献など)

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況					
		29年度	30年度	令和元年度	No	成果指標	29年度	30年度		
								目標値	成果	達成状況
予算額	前年度繰越	459,719	571,989	681,956						
	当初予算	7,276,070	7,210,704	7,507,163						
	補正予算	-24,422	-36,429							
	合計(A)	7,711,367	7,746,264	8,189,119						
Aの財源	料金収入	3,542,815	3,547,395	3,616,648	①	経常収支比率 (%)	116.2	104.6	114.5	達成
	企業債	1,671,200	1,769,800	2,018,900	②	損益 (千円)	541,770	166,793	491,144	達成
	その他(積立金等)	2,497,352	2,429,069	2,553,571	③	有収率 (%)	89.1	89.9	89.1	未達成
決算額(B)		6,694,249	6,805,635		④	基幹施設の耐震化着手 (うち下段完了)(箇所、累計)	15 (10)	16 (14)	16 (14)	達成
	概算人件費				⑤	基幹管路の耐震適合率(%)	87.0	88.0	88.0	達成
概算事業費(B(A)+C)	職員数(人)	45.00	45.00	45.00	⑥	重要給水施設に至る管路 の耐震適合率 (%)	73.8	75.2	75.5	達成
	概算人件費(C)	-	-	-	⑦	「安心の蛇口」の整備数 (下段は累計)	3 (5)	2 (7)	2 (7)	達成

備考	成果指標 設定理由	長野県公営企業経営戦略(平成28年2月策定)に基づく指標 ①②経常収支比率100%以上を維持し利益を確保、③経営安定のための有収率の向上、④⑤⑥投資計画に基づく耐震化の推進、⑦応急給水拠点「安心の蛇口」の整備(熊本地震の状況等を踏まえ、H37年度までの整備目標11か所→20か所に倍増)
----	--------------	--

目標に対する 成果の状況	・給水戸数の増等により料金収入が増加し、修繕費、動力費等の費用が減少したため、経常収支比率及び損益は目標を達成した。 ・有収率は、漏水調査等による漏水箇所の把握及び迅速な修繕工事を実施したものの、目標を下回った。平成30年度に1基から2基に拡充した高感度音圧センサーを活用した漏水調査機器を用いて令和元年度も効率的な漏水調査を実施するほか老朽管の解消を進め、有収率の向上を図る。 ・基幹施設の耐震化、基幹管路及び重要給水施設に至る管路の耐震適合率は、計画どおり工事を実施し、目標を達成した。 ・「安心の蛇口」については、平成30年度に新たに2箇所(上田市及び長野市各1箇所)整備し、目標を達成した。
-----------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	給水収益の確保と企業債残高の抑制を図りつつ、水道施設の老朽化対策、大規模災害に備えた耐震化、危機管理対策等の推進	耐震化の1年前倒し、水道法改正を踏まえた関係市町との連携強化及び知事部局と連携した県内市町村等の持続可能な水道経営の確立に向けた支援を実施する。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
		水道事業(末端給水事業)	○経営の安定 ・基幹施設・基幹管路の耐震化、老朽化対策 ・有収率向上対策(音圧ロガー漏水監視機器の拡充) ○地域への貢献、地域との共存・共栄 ・天龍村の簡易水道施設整備に係る事務の代替執行 ・高齢者元気応援システム(ASA System)の実証実験 ・音圧ロガー漏水監視機器貸出しによる市町村の有収率向上支援 ・水道支援チームによるお出かけ相談、市町村等水道事業者相談窓口の設置、実務研修会の開催 ○リスクマネジメント ・「安心の蛇口」の整備 ○社会環境変化への挑戦 ・諏訪形浄水池の増設 ・働きやすく機動的な職場環境整備(電気・水道事業共通)	45.00	7,210,704	6,805,635	7,507,163
合計				45.00	7,210,704	6,805,635	7,507,163

